

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-501082(P2005-501082A)

【公表日】平成17年1月13日(2005.1.13)

【年通号数】公開・登録公報2005-002

【出願番号】特願2003-518614(P2003-518614)

【国際特許分類】

A 6 1 K 9/12 (2006.01)

A 6 1 K 47/06 (2006.01)

A 6 1 K 47/12 (2006.01)

C 0 7 C 27/02 (2006.01)

C 0 7 C 51/09 (2006.01)

C 0 7 C 51/363 (2006.01)

C 0 7 C 53/21 (2006.01)

C 0 7 C 59/135 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 9/12

A 6 1 K 47/06

A 6 1 K 47/12

C 0 7 C 27/02

C 0 7 C 51/09

C 0 7 C 51/363

C 0 7 C 53/21

C 0 7 C 59/135

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成17年7月11日(2005.7.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

粒子状の薬剤と、1個以上のフルオロカーボン噴射剤もしくは水素含有クロロフルオロカーボン噴射剤と、[(7,7,8,8,8-ペントフルオロオクチル)オキシ]酢酸またはその塩もしくは溶媒和物とを含む、エアロゾル医薬製剤。

【請求項2】

[(7,7,8,8,8-ペントフルオロオクチル)オキシ]酢酸が遊離酸として存在する、請求項1記載のエアロゾル医薬製剤。

【請求項3】

フルオロカーボン噴射剤が、1,1,1,2-テトラフルオロエタン、または1,1,1,2,3,3,3-ヘptaフルオロ-n-プロパン、またはそれらの混合物から選択される、請求項1または2記載のエアロゾル医薬製剤。

【請求項4】

噴射剤が1,1,1,2-テトラフルオロエタンである、請求項3に記載のエアロゾル医薬製剤

。

【請求項 5】

粒子状の薬剤が、アルブテロールもしくはその生理学的に許容される塩、フルチカゾンプロピオネートもしくはその生理学的に許容される溶媒和物、サルメテロールもしくはその生理学的に許容される塩から選択される、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載のエアロゾル医薬製剤。

【請求項 6】

更なる薬剤を含む、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載のエアロゾル医薬製剤。

【請求項 7】

サルメテロールもしくはその生理学的に許容される塩とフルチカゾンプロピオネートもしくはその生理学的に許容される溶媒和物とを組み合わせる含む、請求項 6 に記載のエアロゾル医薬製剤。

【請求項 8】

[(7,7,8,8,8-ペントフルオロオクチル)オキシ]酢酸またはその塩もしくは溶媒和物。

【請求項 9】

定量噴霧式吸入器における使用に適合させたエアロゾル医薬懸濁剤における懸濁化剤としての、[(7,7,8,8,8-ペントフルオロオクチル)オキシ]酢酸またはその塩もしくは溶媒和物の使用。

【請求項 10】

6-(ペントフルオロエチル)ヘキサン-1-オールとブromo酢酸エチルとを反応させることを含む、[(7,7,8,8,8-ペントフルオロオクチル)オキシ]酢酸の製造方法。